

# 森林整備・治山事業促進議員連盟「緊急決起大会」 (令和3年11月26日 於 自民党本部)

## 1 開催主旨

昨今の激甚な災害の発生等を踏まえ、国民の安全・安心な暮らしを実現する「緑の国土強靱化」、林業成長産業化の実現のための「基幹林道等の路網整備や再造林の推進」、「2050年カーボンニュートラルを見据えた脱炭素社会の実現」、「コロナ後の経済社会を見据えた山村基盤の整備」等に向けた林野公共事業は不可欠であり、令和4年度当初予算を確実に措置確保するとともに、国土強靱化に向けた予算も含め林野公共事業予算の一層の増額を目指し森林整備・治山事業促進議員連盟において「緊急決起大会」を開催。

2 日 時 令和3年11月26日（金） 9:00～10:00

3 場 所 自由民主党本部 8階 リバティ2・3

4 出席議員 山口俊一議連会長はじめ国会議員45名（代理出席含め91名）

※来賓として、**築 和生 農林部会長**、**谷 公一 林政対策委員長**が御出席。

## 5 出席団体

- 都道府県森林整備・治山担当部局
- （一社）日本林業協会 ○全国森林組合連合会 ○（一社）日本林業経営者協会
- （一社）日本治山治水協会 ○日本林道協会 ○日本造林協会
- （一社）全国森林土木建設業協会 ○（一社）日本林業土木連合協会
- 全国水源林造林協議会連合会 ○全国国有林造林生産業連絡協議会
- 全国素材生産協同組合連合会 ○全国山林種苗協同組合連合会 ○森林整備センター

**約50名**

## 6 現場の声(首長)

森林・林業は山村の存立基盤であり、林業成長産業化と国土強靱化は極めて重要。災害が頻発する中、現場の最前線で地域の人々のいのちと暮らしを守り抜いていく覚悟。是非とも林野公共予算の確保により御支援いただきたい、との要望。

- 長野県 阿智村 熊谷 秀樹 村長（長野県治山林道協会）
- 長崎県南島原市 松本 政博 市長（長崎県治山林道協会）

## 7 概 要:

山口議連会長の御挨拶の後、築農林部会長、谷林政対策委員長から激励の御挨拶の後、現場の第一線で御尽力されている熊谷 阿智村長、松本 南島原市長からの切実な現場の声、さらに関係団体から、中崎 全国森林組合連合会代表理事会長、嶋崎 全国森林土木建設業協会会長、新谷 日本林業土木連合協会会長から要望陳述。

西村事務局長により読み上げられた決議文が採択され、山口会長から、関係者の心をひとつにして予算獲得に頑張っていこうという決意表明で、盛会のうちに終了（財務省へ後日要請予定）。

# 「緊急決起大会」の様子

## ■ 開会、来賓等の御挨拶



山口 議連会長



籙 農林部会長



谷 林政対策委員長



武部農林水産副大臣

## ■ 現場の声



熊谷 阿智村長

◇日本一の星空を有する村。多くの人々が訪れ、安心して過ごせる村の存続のためにも、山村を守り、安全・安心のための林野公共予算の確保は重要。



松本 南島原市長

◇歴史的に多くの災害を受け、国土強靱化は極めて重要。地域のいのちと暮らしを守るため、災害に強い健全な森林づくりが必要。



中崎会長(全森連)

◇国産材時代を迎え、間伐、再造林等の森林整備をはじめ路網整備の強化が必要。こうした対策に向けた安定的な林野公共予算の確保が重要。



鳴崎会長(全森建)

◇国土強靱化対策に加えて、森林資源の循環利用に向けた路網整備、地域の安全・安心の担い手確保のために十分な予算確保が不可欠。



新谷会長(林土連)

◇被災地の早期復旧支援やグリーン成長の基盤となる基幹林道等の整備に積極的取組む覚悟。山村を守る林野公共事業予算の確保が重要。

## ■ 決議文の採択



西村 議連事務局長

## ■ 会場の状況



多くの国会議員の先生方が御参加



関係団体の皆様が見守る中、決議が採択 →



# 令和4年度 林野公共事業予算に関する決議

我が国は、地形が急峻であり、地震や火山活動も活発であることに加え、梅雨や台風時期に豪雨が集中すること等から、災害を受けやすい宿命を負っている。このような自然条件下において、森林整備・治山事業は、明治以来一貫して荒廃した森林の再生に取り組み、安全な国土基盤の形成を通じて我が国の豊かな発展を支え続けてきた。

特に、近年、地球温暖化の影響に伴う気候変動により、局地的な豪雨・豪雪や全国規模での強力な台風、線状降水帯の発生等による河川の氾濫、山腹崩壊、流木・土石流、林道等の決壊、集落の孤立等の被害が多発している。本年においても、七月一日からの大雨、八月の大雨・台風により広域にわたって激甚な被害が発生している。河川の氾濫に伴う大規模浸水、山腹崩壊、林道の決壊等、被害は広域にわたり、被災地の多くは、今なお復旧の途上にある。

こうした災害の激甚化・多様化という危機的状況を踏まえ、国民の安全・安心な暮らしを実現するため、復旧対策はもとより、事前防災・減災をはじめ、森林の機能を高度に発揮し、災害に強い健全な森林づくりによる緑の国土強靱化を一層強力に推進していかねばならない。

あわせて、森林資源の循環利用を通じた林業の成長産業化の実現や二〇五〇年カーボンニュートラル、さらには今般の木材不足・価格高騰にも対応すべく、主伐後の再造林の着実な実施や路網整備の推進等、森林吸収源対策を強力に推進することが肝要である。

また、地域の存立基盤である山村や森林・林業を下支えするためにも、山村地域の振興にも資する林野公共事業が果たす役割は極めて大きく、これを推進することが重要である。

以上を踏まえ、森林整備事業及び治山事業については、全力でこれらに取り組む必要があるため、森林整備・治山事業促進議員連盟は、林野公共事業予算について、平成二十一年度の水準に戻し、かつ安定的に措置できるよう、財政当局をはじめとする政府に対し次の項目について特に強く要望する。

一、国民の安全・安心な暮らしの実現に向けて、荒廃山地の復旧対策はもとより、被害の発生を未然に防止する事前防災・減災対策を一層推進するため、治山事業予算の拡充を図ること。

一、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の実現に向けて、森林吸収源対策の推進に不可欠な間伐や主伐後の確実な再造林、効果的・効率的な木材の安定供給をはじめ災害時の避難対策にも資する幹線林道等の路網整備など多様で健全な森林づくりを強力に推進するため、森林整備事業予算の拡充を図ること。

一、国土強靱化に向けた森林整備・治山対策のさらなる加速化・深化を図るため、本年度を始期とする「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」について、令和四年度以降も所要の予算を別枠で確実に確保するとともに、国土強靱化に向け林野公共事業予算を増加させること。

一、林野公共事業の強力な推進をはじめ、大規模な災害が発生した際の体制の強化や現場での予防・復旧対策の確実な実施等のため、森林管理局等における現場技術を有する人材の育成・確保を図ること。また、林野公共事業の施工条件等の特性を踏まえた円滑な発注及び施工体制の確保に向けた取組を推進すること。

一、コロナ後の経済社会を見据えた山村・森林空間の活用や森林・林業への国民からの期待の高まりを踏まえ、山村を下支えする林野公共事業を推進し、山村地域の振興や安全・安心の確保を図ること。この際、若者・高齢者等にも働きやすく、安全で魅力ある「新しい林業」の実現に向け、無人化・省力化・非接触型等の技術導入に向けた取組や、現下の木材需給状況にも対応した国産材の安定供給体制の構築など林業成長産業化に向けた取組を推進すること。

一、森林環境譲与税は、自然的・社会的条件が不利な森林の整備を推進するという新たな需要に対応するものであることから、既存の財源の代替とならないようにするとともに、引き続き、林野公共事業予算がめり込むことのないようにすること。